

第1回岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金専門部会

議 事 要 旨

1 日 時

令和7年9月29日（月） 午後2時55分～

2 場 所

岡山市北区下石井1丁目4番1号
岡山第2合同庁舎 3階会議室

3 出席者

公 益 委 員 : 3人
労働者側委員 : 3人
使用者側委員 : 3人

4 審議事項

- (1) 部会長・部会長代理の選任について
- (2) 特定最低賃金専門部会の運営について
- (3) 資料説明について
- (4) 特定最低賃金改正決定の必要性の有無について
- (5) 今後の審議日程について
- (6) その他

5 議事要旨

- (1) 部会長・部会長代理の選任について
公益委員の互選により、部会長に片山委員、部会長代理に富永委員が選任された。
- (2) 特定最低賃金専門部会の運営について
今年度の専門部会の運営について、最低賃金審議会令第6条第5項の規定により、全会一致の場合には専門部会の決議を本審の決議として答申することが確認された。
- (3) 資料説明について
専門部会に提出した岡山県内における経済指標、雇用情勢等各種資料について、事務局から説明が行われた。
また、岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金専門部会の審議のための基礎資料を得ることを目的として実施した最低賃金基礎調査結果について事

務局から説明が行われた。なお調査結果から推計される未満率は13.5%であったことが報告された。

(4) 特定最低賃金改正決定の必要性の有無について

ア 岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金の改正決定の必要性について審議され、労使双方の委員から以下の意見が述べられた。

【労働者側意見要旨】

産業別最低賃金の改定は必要である。

- ・自動車産業においては米国関税問題に大きな影響を受け、これは車体メーカーはもとより部品メーカーにおいても非常に大きな打撃を受ける年になる。
- ・岡山県の自動車製造業という業種においては三菱自動車を筆頭に部品メーカーが存在しており、三菱自動車の影響、今後の動向、経営状況が大きく影響することとなる。
- ・今季春闘においては、三菱自動車ふそう労連まとめにおいて車体メーカーでさえ4.96%、加盟組合の賃金引上げ額の平均ということでは3.3%であり消費者物価指数にも負ける状況にある。また、2次、3次、4次下請け、組合のない組織ではこれより低いということも思慮しなければならない。
- ・自動車産業においても人材の確保、流出は喫緊の課題であり、これは車体メーカーだけではなく、部品メーカーも含め各組織において顕著に表れており、非常に厳しい状況にある。
- ・岡山県において自動車産業は基幹産業であり、この産業の魅力を向上させていくためにも仕事の質、内容にふさわしい水準の特定最賃を確立しなければならない。

【使用者側意見要旨】

最低賃金の改正決定の必要性については、その必要はない。

- ・自動車産業に人材の確保が必要ということに関しては疑いの余地はない。品質や安全を守るためにも熟練した人材が不可欠な産業である。
- ・その技能の価値を賃金にどう反映させるかは個々の企業が自主的に判断すべきものである。業種全体として一律に特定最低賃金を設ける必要性は薄れてきているのではないか。
- ・岡山県最低賃金も近年大幅に引き上げられ、相応の水準が確保されている。特定最低賃金が担っていた技能水準に見合った底上げの役割は地域別最賃の上昇によって十分に吸収されつつある。
- ・特定最賃が高く設定され続ければ中小企業にとって二重の縛りとなり賃金コストの増加を招く。人材の確保、雇用の安定どころか、経営の圧迫、産業全体の競争力を損なう危険性がある。
- ・特定最低賃金を設定する合理性は今日的に薄れており、必要なのは業界

全体での一律規制ではなく、各企業が自らの経営判断で技能や経験を適切に評価し、賃金に反映させる仕組みであるべきではないか。そのため、自動車産業に設定されている特定最低賃金の必要性はないという立場である。

イ 労使協議について

労使双方から意見が述べられた後、労使協議の意向が示され、労使協議が行われた。その結果、本日の協議においては意見の一致をみるに至らなかった。

そのため、当日はこれ以上の進展が見込まれないことから、次回に持ち越すこととなった。

(5) 今後の審議日程について

第2回岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金専門部会は10月3日(金)に開催することが連絡された。

(6) その他

特になし。

6 配布資料

- ・岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金専門部会委員名簿
- ・特定最低賃金にかかる諮問文
 - ①特定最低賃金の改正決定の必要性の有無について（諮問）
 - ②特定最低賃金の改正決定の必要性の有無及び改正決定について（諮問）
- ・岡山県金融経済月報（2025年9月4日）「日本銀行岡山支店」
- ・岡山県内経済情勢報告（令和7年7月29日）「岡山財務事務所」
- ・岡山県鉱工業生産・出荷・在庫指数（令和7年7月分）
「岡山県総合政策局統計分析課」
- ・雇用情勢（令和7年7月）「岡山労働局職業安定課」
- ・特定最低賃金基礎調査結果等
- ・岡山県最低賃金と特定最低賃金との比較
- ・令和6年度岡山県最低賃金・特定最低賃金審議経過及び結果一覧表